

## 5次以下の方程式の Galois 群について

$K$  は体であるとし,  $f(x) \in K[x]$  は  $K$  上の (既約な)  $n$  次 分離多項式 であるとし,  
 $L$  は  $f(x)$  の  $K$  上での 最小分解体 であるとする.

$L/K$  は  $K$  上の有限次 Galois 拡大 になる.

問題 8-4 (1)  $\rightarrow$

その Galois 群  $G = \text{Gal}(L/K)$  は  $f(x)$  の根全体の集合  $\{\alpha_1, \dots, \alpha_n\}$  に 推移的に  
 作用する. ( $G$  は  $\{\alpha_1, \dots, \alpha_n\}$  の 置換群  $S_n$  の推移的部分群 とみなされる.)

$n=2$   $n=2$  のとき,  $G = \langle \sigma \rangle \cong S_2 \cong C_2$ . ( $\sigma$  は 2 つの根の互換)  $\square$

$n=p$  は素数  $K = \mathbb{Q}$  で  $n=p$  が素数で  $f(x)$  がちょうど  $p-2$  個の実根を持つ  
 ならば  $G \cong S_p$  となる.  $\leftarrow$  問題 8-4 (2)  $\square$

例  $K = \mathbb{Q}$ ,  $f(x) = x^5 - 16x + 2$  のとき,  $G \cong S_5$ .  $\leftarrow$  問題 8-4 (3)  $\square$

$n=3$   $S_3$  の推移的部分群は  $A_3$  と  $S_3$  の 2 つだけである.  $\leftarrow$  問題 8-2

$G \cong A_3, S_3$  となる 3 次の既約多項式  $f(x) \in \mathbb{Q}[x]$  の例を作りたくなる

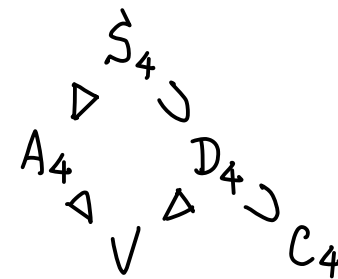
$\cong C_3 \cong D_3$

$\square$

$n=4$  以下の5つは  $S_4$  の推移的部分群である: ← 問題 8-3 (3)

$$\left\{ \begin{array}{l} \langle (1,2,3,4) \rangle \cong C_4 \\ V = \{1, (1,2)(3,4), (1,3)(2,4), (1,4)(2,3)\} \cong C_2 \times C_2 \\ \langle (1,2,3,4), (1,3) \rangle \cong D_4 \\ A_4 \\ S_4 \end{array} \right.$$

$\swarrow$  Klein の四元群  
 $\swarrow$   $C_2 \times C_2$   
 $\swarrow$   $S_4$  の推移的部分群は  
 $\swarrow$  共役を除いてこれしかない



$G \cong C_4, V, D_4, A_4, S_4$  となる4次の既約多項式  $f(x) \in \mathbb{Q}[x]$  を作りたいくなる.  $\square$

例  $K=\mathbb{Q}, f(x)=x^3-3$  のとき,  $L=\mathbb{Q}(\omega, \alpha)$  ( $\omega = \frac{-1+\sqrt{3}}{2}, \alpha = \sqrt[3]{3}$ ),  $G \cong S_3$  ← 問題 7-1  $\square$

例  $K=\mathbb{Q}, f(x)=x^4-4x^2+2, \alpha = \sqrt{2+\sqrt{2}}$  のとき,  $L=\mathbb{Q}(\alpha), G \cong C_4$ . ← 問題 7-2.  $\square$

例  $K=\mathbb{Q}, f(x)=x^4-2, \omega=\sqrt{-1}, \alpha = \sqrt[4]{2}$  のとき,  $L=\mathbb{Q}(\omega, \alpha), G \cong D_4$ . → 問題 12-1  $\square$

例  $K=\mathbb{Q}, f(x)=x^4-10x^2+1$  のとき,  $L=\mathbb{Q}(\sqrt{2}, \sqrt{3}), G \cong C_2 \times C_2$ . → 問題 12-2  $\square$

例  $K=\mathbb{Q}, f(x)=x^3-21x+28$  のとき,  $G \cong C_3$ . → 問題 13-1  $\square$

例  $K=\mathbb{Q}, f(x)=x^3+3x^2-3$  のとき,  $G \cong C_3$ . → 問題 13-2  $\square$

} 次回にヒント付きで  
出る問題

**問題 12-1**  $F(x) = x^4 - 2$ ,  $\alpha = \sqrt[4]{2}$ ,  $i = \sqrt{-1}$  とおく、以下を示せ、

- (1)  $F(x)$  は  $\alpha$  の  $\mathbb{Q}$  上での最小多項式である、
- (2)  $F(x)$  の  $\mathbb{Q}$  上での最小分解体は  $\mathbb{Q}(\alpha, i)$  に等しい、
- (3)  $[\mathbb{Q}(\alpha, i) : \mathbb{Q}] = 8$ 、

( $K = \mathbb{Q}$ ,  $n = 4$  で  
 $G \cong D_4$  になる例)

- (4)  $\mathbb{Q}(\alpha, i)$  の  $\mathbb{Q}$  上での体の自己同型  $\sigma, \tau$  を次のように定義できる:

$$\sigma(f(\alpha)) = f(i\alpha) \quad (f(x) \in \mathbb{Q}(i)[x]), \quad \tau(g(i)) = g(-i) \quad (g(x) \in \mathbb{Q}(\alpha)[x]).$$

- (5)  $\text{Gal}(\mathbb{Q}(\alpha, i)/\mathbb{Q}) = \langle \sigma, \tau \rangle \cong D_4$ .

□

**問題 12-2**  $L = \mathbb{Q}(\sqrt{2}, \sqrt{3})$  とおく、以下を示せ、

- (1)  $F(x) = x^4 - 10x^2 + 1$  は  $\alpha = \sqrt{2} + \sqrt{3}$  の  $\mathbb{Q}$  上での最小多項式である、

- (2)  $L = \mathbb{Q}(\sqrt{2}, \sqrt{3})$  は  $F(x)$  の  $\mathbb{Q}$  上での最小分解体である、

- (3)  $L/\mathbb{Q}$  は 4 次の Galois 拡大である、

( $K = \mathbb{Q}$ ,  $n = 4$  で  
 $G \cong C_2 \times C_2$  となる例)

- (4)  $L$  の  $\mathbb{Q}$  上での自己同型  $\sigma, \tau$  を次のように定めることができる:

$$\sigma(f(\sqrt{2})) = f(-\sqrt{2}) \quad (f(x) \in \mathbb{Q}(\sqrt{3})[x]), \quad \tau(g(\sqrt{3})) = g(-\sqrt{3}) \quad (g(x) \in \mathbb{Q}(\sqrt{2})[x]).$$

- (5)  $\text{Gal}(L/\mathbb{Q}) = \langle \sigma, \tau \rangle \cong C_2 \times C_2$  ( $C_n$  は位数  $n$  の巡回群).

□

↑  $F(x)$  の根全体の集合の置換群の中の Klein の四元群に一致、